



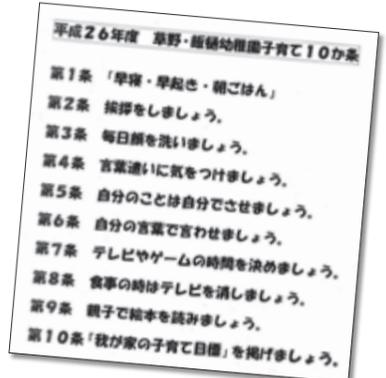
幼稚園は楽しいよ!

Q 避難先の村の幼稚園について教えてください。

A 福島市飯野町で元気に、楽しい豊かな体験をしています!



体験を大切に!
外国人講師による英語教室や太鼓活動など、直接体験を大切にしています。今年度から運動会や村行事で太鼓を披露する予定です!



▲園から家庭に配布している子育て10か条



★運動大好き! 体操タイム
幼児期に身に付けたい動きを取り入れた体操を毎日、みんなで元気にしています!

園児募集中

幼稚園についての、詳しい情報は幼稚園ホームページをご覧ください。
「草野・飯樋幼稚園」で検索または村ホームページから見る事が出来ます。

【問い合わせ】
飯館村立草野・飯樋幼稚園
〒960-1304
福島県福島市飯野町大久保字芝垣16-2
☎ 024-573-1150

笑顔 あふれる 村の幼稚園です。

いせひでこ先生と飯館村の子どもたち

飯館村教育委員会
学校教育指導員 海野 和夫

いせ先生は画家で、世界的に有名な絵本作家です。大震災と原発事故の直後、飯館村の人たちが栃木県鹿沼市に一時避難した時、鹿沼市が飯館村に「何かの縁」を感じたといいます。それから、何ができるかを考え、たまたま出版されたばかりの自作絵本「木のあかちゃんズ」と3日くらい徹夜して描いたという「絵」を村の小学生全員(当時350名ほど在籍)にプレゼントされています。特に1,2年生には、自ら激励の言葉を添えて手渡しています。

いせ先生は、ずっとあのときの子どもたちのことが気になり、是非もう一度会いたいと願っていたそうです。そして去る7月7月、飯館村の小学校で、今は4,5年生になっている当時の1,2年生との「絵を描くワークショップ」が実現しました。

80人の小さな絵描きが協同で、「木のねっこの物語」を描きました。約3時間以上、子どもたちは一心不乱に絵を描き続けました。思いがけない再会と充実感に満ちたうれしい時間でありました。

教育相談申し込み 飯館中学校教頭まで
☎ 024-573-1161



学校運営協議会が発足 土曜授業の実施は当面見送り

学校運営協議会事務局

第1回学校運営協議会が、去る6月4日(水)、村役場飯野出張所で開かれました。委員は、PTA会長、校長、学識者など15名で構成され、会長の境野健児(さかいのけんじ)氏(福島大学名誉教授)が座長に就き、協議に入りました。主な議題は「土曜授業に関する調査結果」と「学力向上の取り組み」についてでした。

土曜授業に関する調査結果

「土曜授業に関するアンケート」は、調査対象が幼稚園47人、小学校184人、中学校105人、回収率が幼稚園100%、小学校96%、中学校99%でした。賛否の結果は、幼稚園では賛成24%、反対48%、その他23%、反対の理由として、通園の負担を心配する声が多いようでした。小学校では賛成49%、反対35%、その他18%でした。

一方、中学校では賛成25%、反対62%、その他13%と、反対の声が多数となりました。背景は、「土曜授業の日、部活の大会に参加しても出席扱いであること」、「土曜授業の午後、部活に参加しても、スクールバスがあること」、「練習試合は組めること」などが、保護者に伝えきれなかったことなどが要因ととらえました。アンケートの結果から、土曜授業実施は当面見送ることになりました。

土曜授業は、文部科学省の提唱もあり、全国的な動きとなっています。福島県でも、鏡石町、小野町で始まり、来年から福島市でも実施されます。土曜授業は、村の子供たちの学力向上、体験学習の増加、テレビゲーム遊びの減少などを図ります。今後とも、土曜授業の実施に向けて、学校運営協議会、保護者の皆さんと検討して参ります。

学力向上の取り組み

ふたつ目の議題である「学力向上の取り組み」については、草野・飯樋・白石の小学校の和田節子校長と飯館中学校の目黒満校長から、全国の学力検査、福島県の学力検査、NRT(標準学力検査)の結果と課題、そして今年度の具体的な取り組みが説明されました。小学校は、学年の差はありますが、全国や福島県の平均を超えている学年もあり、ほぼ全国水準と健闘しました。一方、中学校は、一部の教科を除き、全国や福島県の平均に達していないことがわかりました。

学校運営協議会では、これらの学校の課題を地域や保護者と共有し、地域が学校に対しどのように支援できるか検討して参ります。

今後、学力向上の具体策について、学校内だけでなく、有識者、村民、保護者、先生方で構成する学校運営協議会の場で検討します。

